

蠟梅 Now

7月21日の参院選投票も、投票締め切りの午後8時になるや、開票率0%で早々と当確が公表された。出口調査の精度向上が大きな理由のようであるが、一瞬面食らう。是非を云々しても始まらないが、日曜の夜もそんな気分だった。

今回の参院選の際立った特徴は「自民党の大勝」、「共産党の躍進」と「公明党の堅調」である。3党の共通点は、「あるべき国のかたち、とるべき政策」について、信念（のようなもの）で組織が統御されていて、党内で波風が立ちにくいことにある。

統一性のある組織に魅力を感じるようになったのは、「スピード」と「効率」、「コストパフォーマンス」を政治に過剰に求めるようになったからだといわれる。経済のグローバル化が政治過程に浸入して時間意識を変化させた必然的な帰結ともいえる。

候補者が声をそろえた「経済最優先」は「将来の豊かさより、今の金」といえる。「短期決戦」「短命生物」型の時間感覚が政治過程にも入り込んできたということであろう。

古くはこのような未来を軽んじる時間意識のありようを「朝三暮四」と呼んだ。「朝三暮四」の決定に際して、猿たちは一斉に、即答したことを忘れてはならない。

政策決定プロセスがスピーディーで一枚岩であることは、言うまでもなく正しい。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、例年になく厳しい暑さにもめげることなく、全面に青葉を纏い、体力の維持を怠ることなく、子孫の繁栄に向けた生命の営みを粛々と続けている。

豊かな枝ぶりになることを願っていたが、やむなく剪定せざるをえなくなり、世相の反映でもあるかのように縮こまりが見られるものの、内に秘めた生命エネルギーの躍動のようなものを感じるのは、自然の奥深さへの畏敬であろうか。

実生からの蠟梅2世の五つ子も青葉を纏い、同様にこの暑さをものともせず、体力増強に余念がない。

流行のガラパゴス化にならないように、そろそろ、大望に挑戦できるような環境を整えてやらなければならない。



2013年3月に下記へ移転しました。

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>